

平成8年三重県消費者物価の動向

1. 概 要

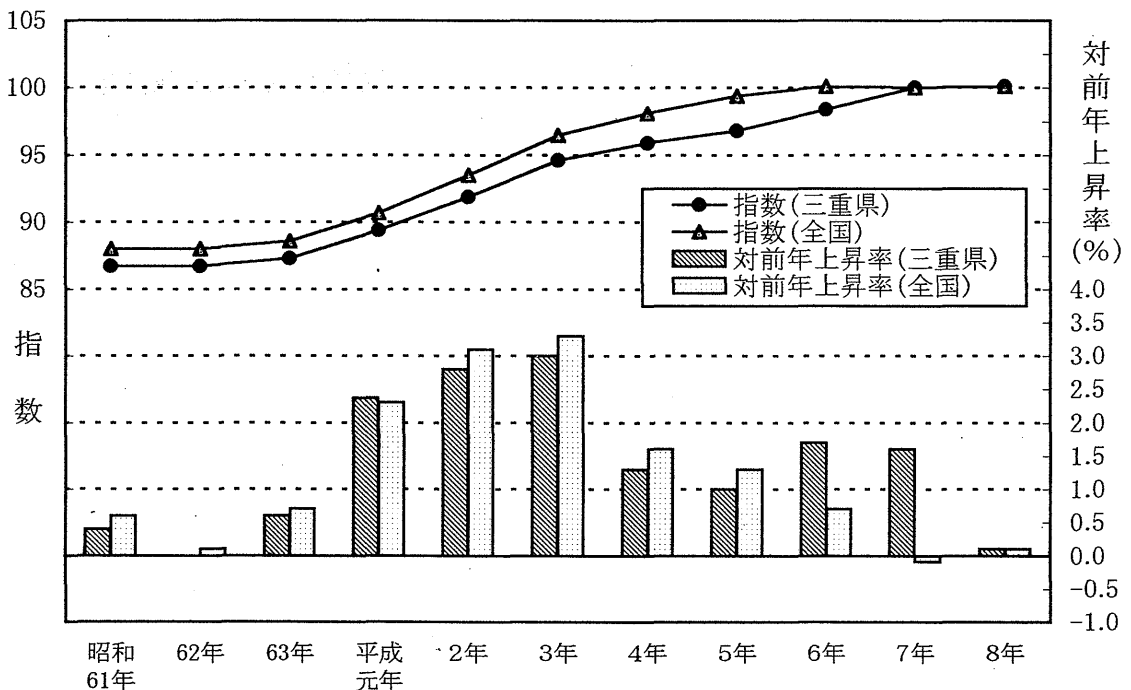
県……平成8年三重県消費者物価指数（県内5市平均）は、平成7年平均を100とした総合指数で100.1となり、前年に比べ（+）0.1%の上昇となった。

最近の総合指数の対前年の上昇率をみると、平成元年は4月からの消費税の導入もあって（+）2.4%の上昇となった後、2年（+）2.8%、3年（+）3.0%と上昇幅が拡大した。しかし、4年からは2%を下回り、4年（+）1.3%、5年（+）1.0%、6年（+）1.7%、7年（+）1.6%の上昇で推移した後、8年は（+）0.1%の上昇で、前年の上昇幅から大きく縮小した。

なお、持家の帰属家賃を除く総合指数は99.9となり、前年に比べ（-）0.1%の下落となった。

国……平成8年全国消費者物価指数は、平成7年を100とした総合指数で100.1となり前年に比べ（+）0.1%上昇した。これは前年の上昇率、（-）0.1%よりは上昇したものの、ほぼ横ばいであった。

図1 消費者物価総合指数及び対前年上昇率



2. 年間の動き

平成8年の三重県消費者物価指数（総合指数）の動きを月別に対前年同月上昇率でみると、前年12月(+) 0.3% の後、1月は生鮮野菜が前年の価格水準を下回ったことなどにより(-) 0.1% の下落、2月は同じく(-) 0.1% で推移し、3月はシャツ・下着・セーター類が下落に転じたため(-) 0.2% となった。

4月、5月は上下水道料金の引き上げ、生鮮魚介の上昇幅の拡大により、それぞれ(+) 0.5% 、(+) 0.3% と比較的大きな上昇となった。

6月から10月まではほぼ前年と同水準で推移した。6月は生鮮魚介の上昇幅が縮小したため(-) 0.1% 、7月は生鮮野菜及び生鮮果物が下落から上昇になったため(+) 0.3% 、8月は生鮮野菜及び生鮮果物が再び下落に転じたために(-) 0.1% 、9月も同じく(-) 0.1% で推移した後、10月は生鮮野菜の下落幅の縮小により(±) 0.0% と前年と同水準となった。

11月は他の光熱（灯油）の上昇幅の拡大などにより(+) 0.3% 、12月は家賃の上昇幅の拡大により(+) 0.6% と比較的大きな上昇となった。

図2 月別の動向

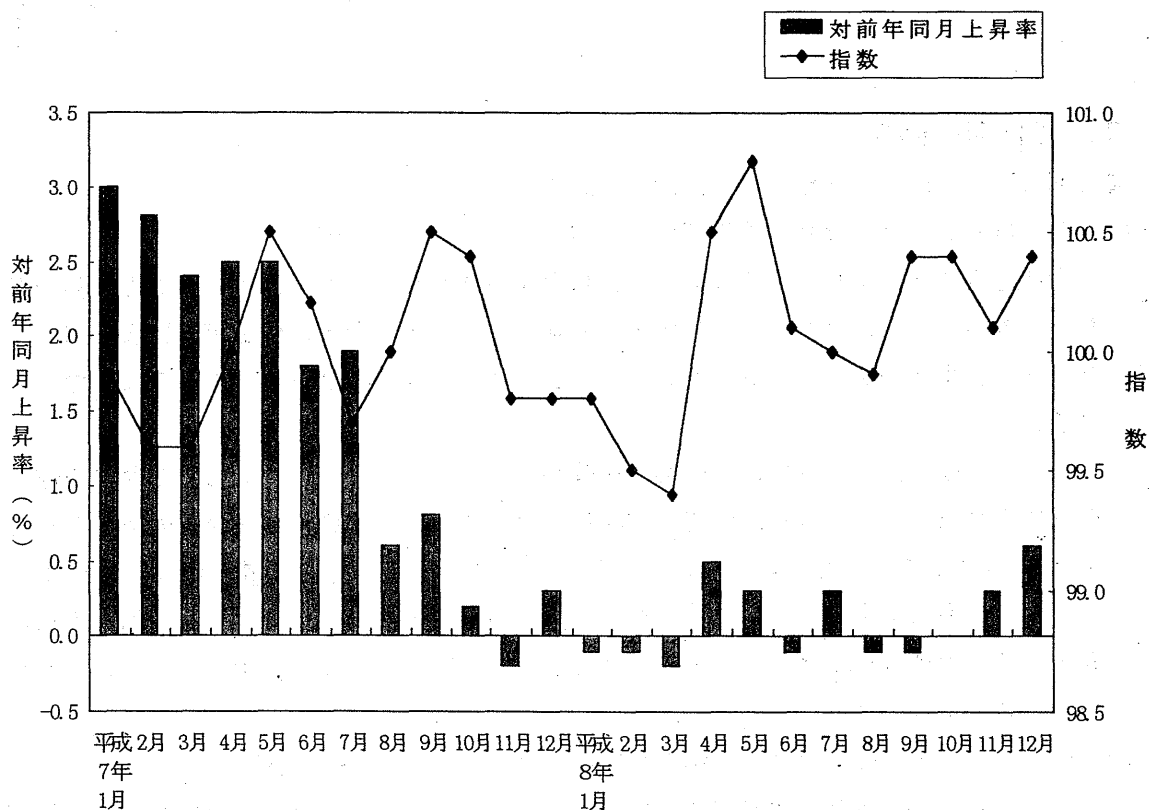
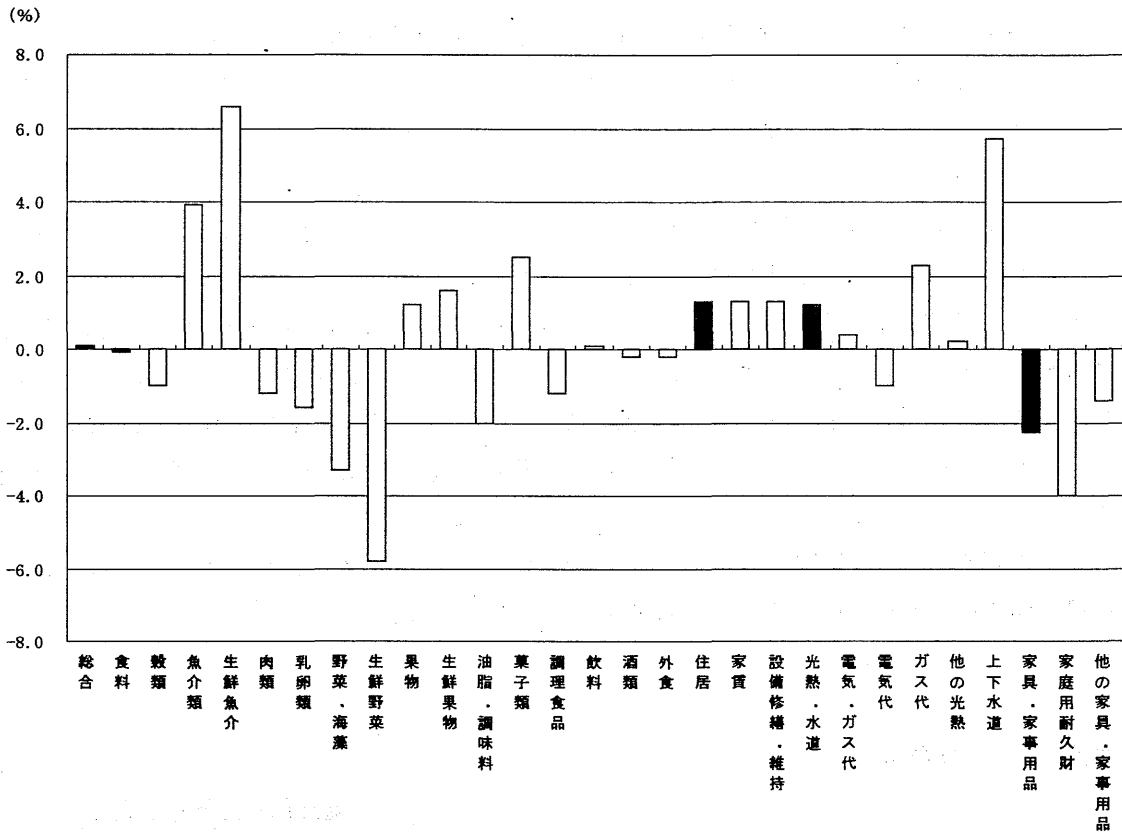


図3 費目別対前年上昇率



3. 費目別の動き

費目別の動きを前年と比較すると、次のとおりである。

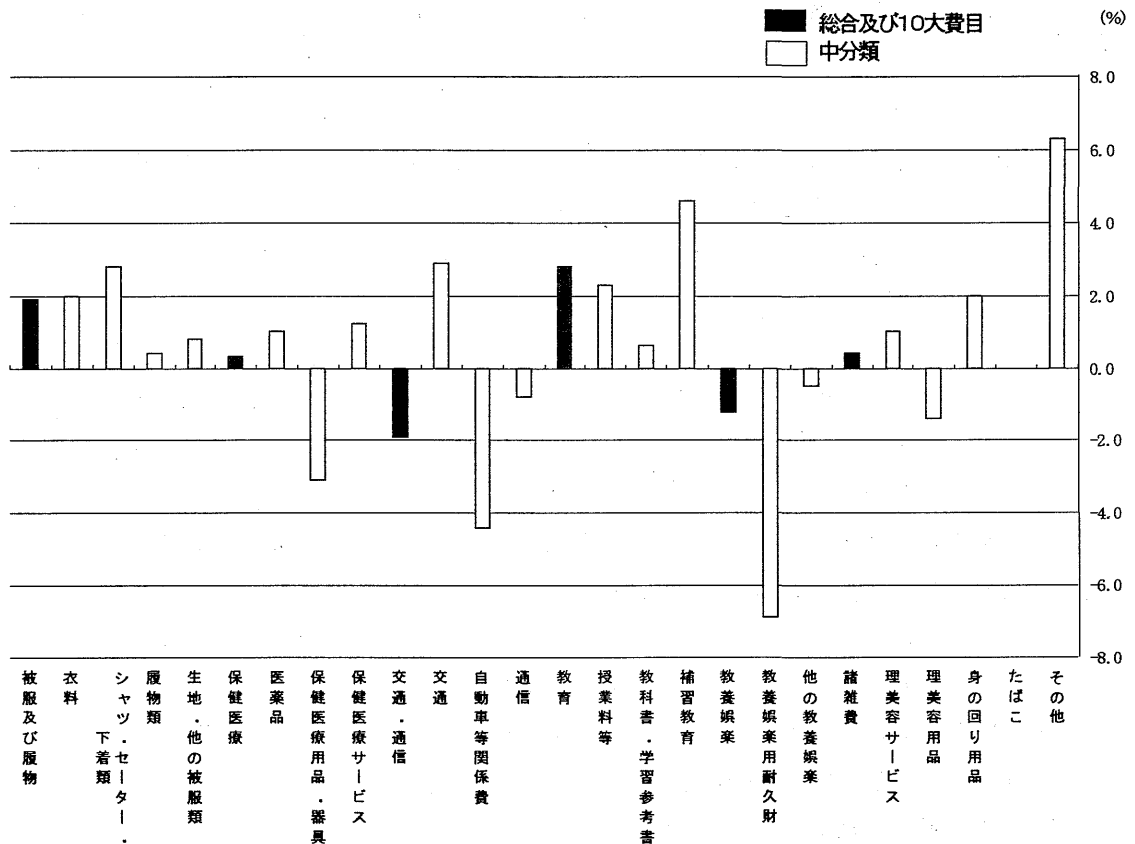
- 食料は99.9となり、7年平均に比べ(-)0.1%下落した。

内訳をみると、上昇した主なものは、魚介類がさんま、いわし、かつおなどの値上がりにより(+) 3.9% 、菓子類がまんじゅう、カステラなどの値上がりにより(+) 2.5% 、果物ががき、もも、オレンジなどの値上がりにより(+) 1.2% となっている。

また、下落した主なものは、野菜・海藻がきゃべつ、はくさい、にんじんなどの値下がりにより(-) 3.3% 、油脂・調味料がマヨネーズ、即席カレーなどの値下がりにより(-) 2.0% 、乳卵類が牛乳(店頭売り)、ヨーグルトなどの値下がりにより(-) 1.6% 、肉類が牛肉、プレスハムなどの値下がりにより(-) 1.2% 、調理食品が弁当、冷凍調理コロッケなどの値下がりにより(-) 1.2% 、穀類がうるち米、もち米などの値下がりにより(-) 1.0% となっている。

- 住居は101.3となり、7年平均に比べ(+) 1.3% の上昇となった。

内訳をみると、家賃が民営家賃の値上がりにより(+) 1.3% 、設備修繕・維持が植木職手間代、塀工事費、大工手間代などの値上がりにより(+) 1.3% の上昇となった。



- 光熱・水道は101.2となり、7年平均に比べ(+)1.2%の上昇となった。
内訳をみると、電気・ガス代が電気代は下落したものの、ガス代の値上がりにより(+)0.4%、上下水道が水道料、下水道料の値上がりにより(+)5.7%の上昇となった。
- 家具・家事用品は97.7となり、7年平均に比べ(-)2.3%の下落となった。
内訳をみると、家庭用耐久財が電気冷蔵庫、扇風機ルームエアコンなどの電化製品を中心に値下がりし、(-)4.0%の下落となっている。
- 被服及び履物は101.9となり、7年平均に比べ(+)1.9%の上昇となった。
内訳をみると、衣料が振袖、背広服(冬物)、婦人ワンピース(冬物)などの値上がりにより(+)2.0%、シャツ・セーター・下着類がワイシャツ(長袖)、婦人Tシャツ(長袖)などの値上がりにより(+)2.8%、履物類が男子革靴、婦人革靴などの値上がりにより(+)0.4%、生地・他の被服類が婦人服地、ネクタイなどの値上がりにより(+)0.8%上昇となっている。
- 保健医療は100.3となり、7年平均に比べ(+)0.3%の上昇となった。
内訳をみると、保健医療用品・器具が生理用紙綿、浴用剤などの値下がりにより(-)3.1%下落したものの、医薬品が総合ビタミン剤、はり薬などの値上がりにより(+)

1. 0%、保健医療サービスが入院費などの値上がりにより (+) 1.2%の上昇となっている。
- 交通・通信は98.1となり、7年平均に比べ (-) 1.9%の下落となった。
内訳をみると、交通が鉄道運賃 (JR以外)、高速自動車道路料金の値上がりにより (+) 2.9%上昇したものの、自動車等関係費がガソリン、自動車タイヤ、自動車ワックスなどの値下がりより (-) 4.4%の下落、通信が通話料の値下がりにより (-) 0.8%の下落となっている。
- 教育は102.8となり、7年平均に比べ (+) 2.8%の上昇となった。
内訳をみると、授業料等がPTA会費、授業料などの値上がりにより (+) 2.3%、教科書・学習参考書が教科書の値上がりにより (+) 0.6%、補習教育が学習塾の値上がりにより (+) 4.6%の上昇となっている。
- 教養娯楽は98.8となり、7年平均に比べ (-) 1.2%の下落となった。
内訳をみると、教養娯楽用耐久財がビデオテープレコーダー、テレビなどの値下がりにより (-) 6.9%、他の教養娯楽が登山靴などの運動用具、人形などのがん具の値下がりにより (-) 0.5%の下落となっている。
- 諸雑費は100.4となり、7年平均に比べ (+) 0.4%の上昇となった。
内訳をみると、理美容用品が化粧石けん、ヘアリンスなどの値下がりにより、(-) 1.4%下落したものの、その他が戸籍抄本手数料の値上がりにより (+) 6.3%、身の回り用品が通学用かばん、指輪などの値上がりにより (+) 2.0%、理美容サービスが入浴料、理髪料などの値上がりにより (+) 1.0%上昇となっている。

4. 寄与率

総合指数の上昇率 (+) 0.1%に影響を及ぼしたものを10大費目別に寄与率でみると、上昇の寄与率は、住居 (+) 261.0%、被服及び履物 (+) 124.0%、教育 (+) 122.0%、光熱・水道 (+) 71.0%、諸雑費 (+) 16.0%、保健医療 (+) 10.0%となっている。

また、下落の寄与率は、交通・通信 (-) 227.0%、教養娯楽 (-) 135.0%、家具・家事用品 (-) 93.0%、食料 (-) 29.0%となっている。

中分類別に主なものをみると、上昇の寄与率は、家賃が (+) 226.0%、魚介類 (+) 121.0%、交通 (+) 88.0%、授業料等 (+) 69.0%、菓子類 (+) 60.0%となっており、下落の寄与率は、自動車等関係費 (-) 303.0%、野菜・海藻 (-) 96.0%、教養娯楽用耐久財 (-) 82.0%、家庭用耐久財 (-) 55.0%となっている。

図4 消費者物価指数の寄与率 (%)

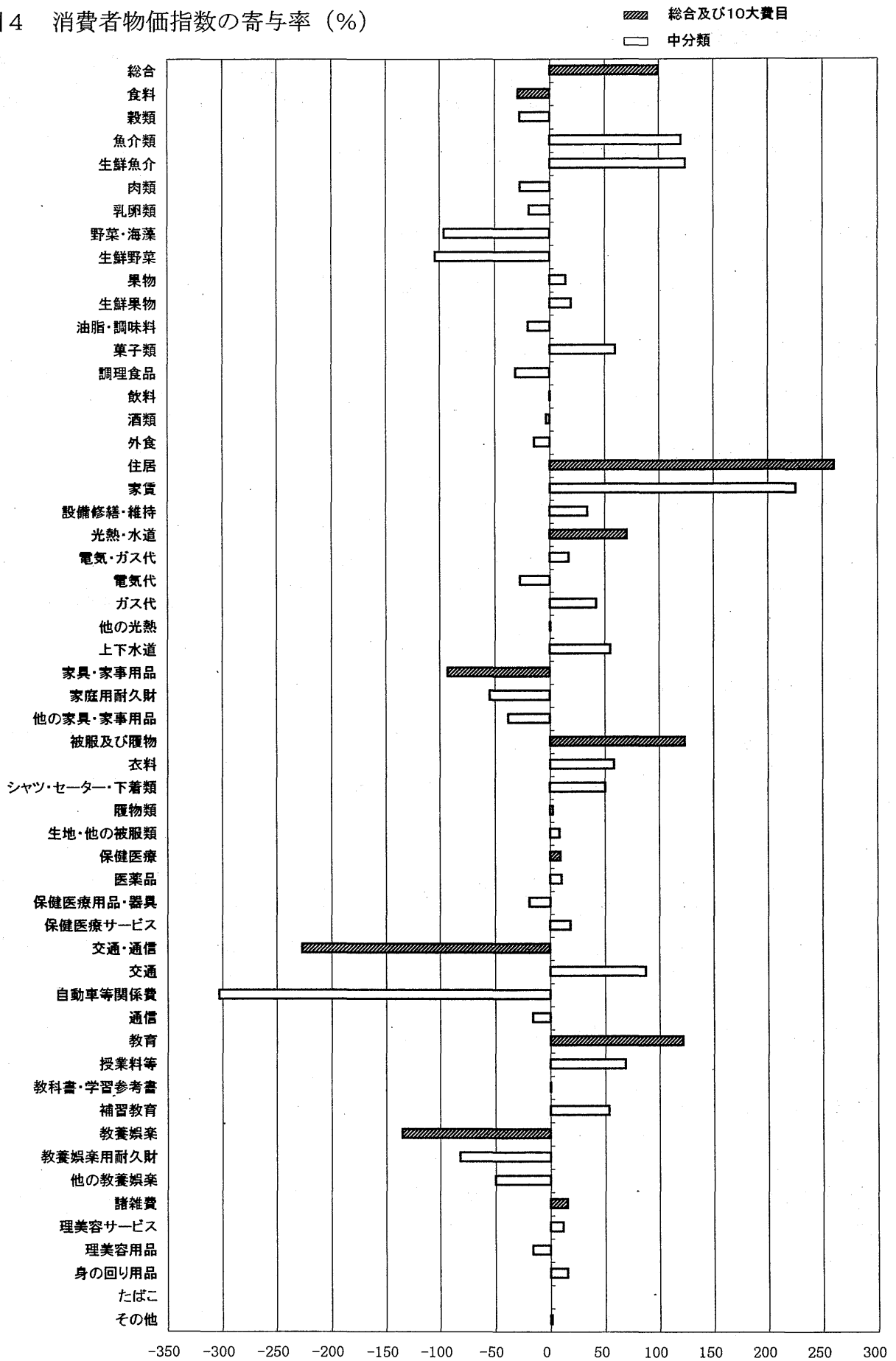


表1 総合指数と対前年上昇率の推移

平成7年 = 100

	県								全国								
	対前年		総合 (※)	対前年		総合 (※)	対前年		総合 (※)	対前年		総合 (※)	対前年		総合 (※)	対前年	
	総合	上昇率		総合	上昇率		総合	上昇率		総合	上昇率		総合	上昇率		総合	上昇率
(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
昭和58年	—	—	84.9	1.3	83.8	1.9	84.9	1.9	平成2年	91.9	2.8	93.8	3.0	93.5	3.1	94.0	3.1
昭和59年	—	—	86.9	2.3	85.7	2.3	86.7	2.2	平成3年	94.6	3.0	96.6	3.0	96.5	3.3	97.1	3.3
昭和60年	86.4	—	88.5	1.8	87.4	2.0	88.5	2.1	平成4年	95.9	1.3	97.7	1.2	98.1	1.6	98.7	1.6
昭和61年	86.7	0.4	88.8	0.3	88.0	0.6	88.9	0.4	平成5年	96.8	1.0	98.7	1.0	99.4	1.3	99.8	1.1
昭和62年	86.7	0.0	88.5	-0.3	88.0	0.1	88.7	-0.2	平成6年	98.4	1.7	99.6	1.0	100.1	0.7	100.3	0.5
昭和63年	87.3	0.6	88.9	0.6	88.6	0.7	89.1	0.5	平成7年	100.0	1.6	100.0	0.4	100.0	-0.1	100.0	-0.3
平成元年	89.4	2.4	91.1	2.3	90.7	2.3	91.2	2.3	平成8年	100.1	0.1	99.9	-0.1	100.1	0.1	100.0	0.0

※ 持家の帰属家賃を除く総合

表2 対前年同月上昇率

単位：%

年 月	平成												
	8.1	8.2	8.3	8.4	8.5	8.6	8.7	8.8	8.9	8.10	8.11	8.12	
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	7.1	7.2	7.3	7.4	7.5	7.6	7.7	7.8	7.9	7.10	7.11	7.12	
総合	県	-0.1	-0.1	-0.2	0.5	0.3	-0.1	0.3	-0.1	-0.1	0.0	0.3	0.6
	全国	-0.5	-0.4	-0.1	0.2	0.2	0.0	0.4	0.2	0.0	0.5	0.5	0.6
持家を除く 帰属家賃 総合	県	-0.2	-0.2	-0.3	0.4	0.0	-0.3	0.1	-0.3	-0.4	-0.4	0.1	0.1
	全国	-0.8	-0.5	-0.3	0.0	0.0	-0.3	0.3	0.1	-0.2	0.3	0.3	0.5

表3 5市平均中分類指数・寄与度・寄与率

平成7年 = 100

	指 数		対前年上昇率 (%)		寄 与 度	寄 与 率 (%)
	平成7年平均	平成8年平均	平成7年平均	平成8年平均	平成8年	平成8年
総 合	100.0	100.1	1.6	0.1	0.100	100.0
総 合 (※ 1)	100.0	99.9	0.4	-0.1	-0.085	-85.0
食 料	100.0	99.9	0.4	-0.1	-0.029	-29.0
穀 類	100.0	99.0	-4.7	-1.0	-0.027	-27.0
魚 介 類	100.0	103.9	1.6	3.9	0.121	121.0
生 鮮 魚 介	100.0	106.6	1.6	6.6	0.125	125.0
肉 類	100.0	98.8	0.1	-1.2	-0.027	-27.0
乳 卵 類	100.0	98.4	-0.6	-1.6	-0.019	-19.0
野 菜 ・ 海 藻	100.0	96.7	-0.9	-3.3	-0.096	-96.0
生 鮮 野 菜	100.0	94.2	-1.6	-5.8	-0.104	-104.0
果 物	100.0	101.2	7.9	1.2	0.015	15.0
生 鮮 果 物	100.0	101.6	8.3	1.6	0.020	20.0
油 脂 ・ 調 味 料	100.0	98.0	-0.9	-2.0	-0.020	-20.0
菓 子 類	100.0	102.5	-0.4	2.5	0.060	60.0
調 理 食 品	100.0	98.8	1.0	-1.2	-0.031	-31.0
飲 料	100.0	100.1	1.1	0.1	0.001	1.0
酒 類	100.0	99.8	1.1	-0.2	-0.003	-3.0
外 食	100.0	99.8	1.4	-0.2	-0.014	-14.0
住 居	100.0	101.3	8.9	1.3	0.261	261.0
住 居 (※ 2)	100.0	100.8	4.4	0.8	0.042	42.0
家 賃	100.0	101.3	10.0	1.3	0.226	226.0
家 賃 (※ 3)	100.0	100.4	5.1	0.4	0.010	10.2
設 備 修 繕 ・ 維 持	100.0	101.3	3.7	1.3	0.035	35.0
光 熱 ・ 水 道	100.0	101.2	1.0	1.2	0.071	71.0
電 気 ・ ガ ス 代	100.0	100.4	1.0	0.4	0.018	18.0
電 気 代	100.0	99.0	-0.1	-1.0	-0.027	-27.0
ガ ス 代	100.0	102.3	2.2	2.3	0.043	43.0
他 の 光 熱	100.0	100.2	-1.0	0.2	0.001	1.0
上 下 水 道	100.0	105.7	1.4	5.7	0.056	56.0
家 具 ・ 家 事 用 品	100.0	97.7	-0.8	-2.3	-0.093	-93.0
家 庭 用 耐 久 財	100.0	96.0	-1.8	-4.0	-0.055	-55.0
他 の 家 具 ・ 家 事 用 品	100.0	98.6	-0.4	-1.4	-0.038	-38.0
被 服 及 び 履 物	100.0	101.9	-1.9	1.9	0.124	124.0
衣 料	100.0	102.0	-3.5	2.0	0.059	59.0
シャツ・セーター・下着類	100.0	102.8	-1.3	2.8	0.051	51.0
履 物 類	100.0	100.4	-1.2	0.4	0.003	3.0
生 地 ・ 他 の 被 服 類	100.0	100.8	0.4	0.8	0.009	9.0
保 健 医 療	100.0	100.3	0.5	0.3	0.010	10.0
医 薬 品	100.0	101.0	0.8	1.0	0.011	11.0
保 健 医 療 用 品 ・ 器 具	100.0	96.9	-1.1	-3.1	-0.019	-19.0
保 健 医 療 サ ー ビ ス	100.0	101.2	0.8	1.2	0.019	19.0
交 通 ・ 通 信	100.0	98.1	-1.1	-1.9	-0.227	-227.0
交 通	100.0	102.9	1.6	2.9	0.088	88.0
自 動 車 等 関 係 費	100.0	95.6	-3.7	-4.4	-0.303	-303.0
通 信	100.0	99.2	4.4	-0.8	-0.016	-16.0
教 育	100.0	102.8	5.0	2.8	0.122	122.0
授 業 料 等	100.0	102.3	3.8	2.3	0.069	69.0
教 科 書 ・ 学 習 参 考 書	100.0	100.6	0.0	0.6	0.001	1.0
補 習 教 育	100.0	104.6	10.0	4.6	0.054	54.0
教 養 娛 楽	100.0	98.8	0.5	-1.2	-0.135	-135.0
教 養 娛 楽 用 耐 久 財	100.0	93.1	-10.7	-6.9	-0.082	-82.0
他 の 教 養 娛 楽	100.0	99.5	1.6	-0.5	-0.050	-50.0
諸 雑 費	100.0	100.4	0.6	0.4	0.016	16.0
理 美 容 サ ー ビ ス	100.0	101.0	1.9	1.0	0.012	12.0
理 美 容 用 品	100.0	98.6	-0.6	-1.4	-0.016	-16.0
身 の 回 り 用 品	100.0	102.0	0.3	2.0	0.016	16.0
た ば こ	100.0	100.0	0.0	0.0	0.000	0.0
そ の 他	100.0	106.3	0.0	6.3	0.002	2.0